

# 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)応募者説明会

2026年5月21日、25日

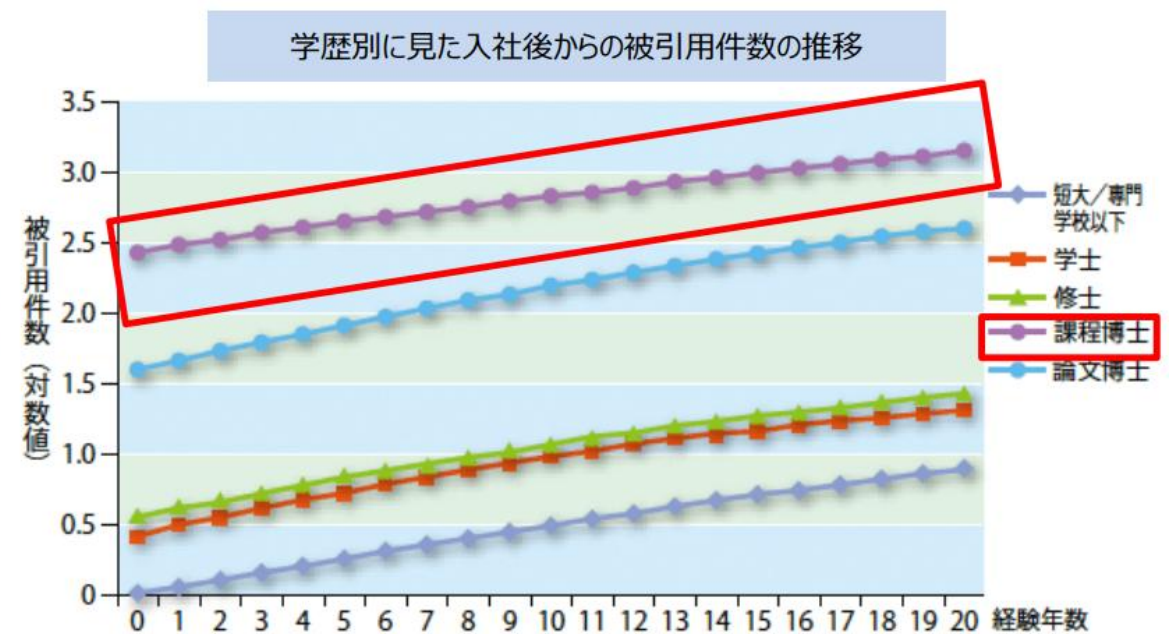
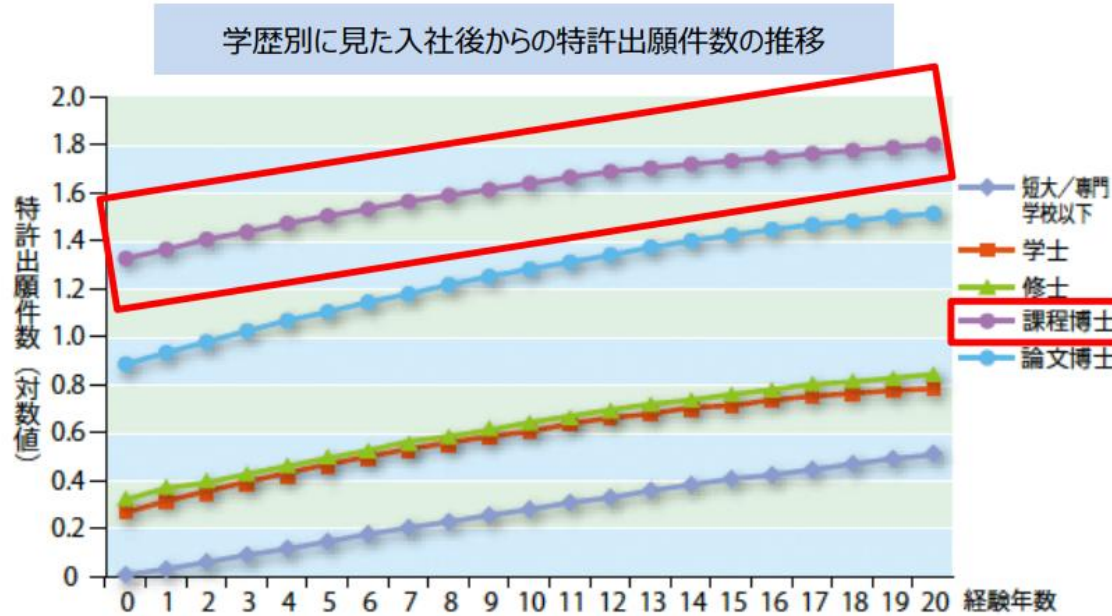


広島大学  
大学院生支援プロジェクト  
Hiroshima University Postgraduate Advancement Project



# なぜ博士人材が重要か

- 博士人材は、深い専門知識と課題発見・解決能力などの汎用的能力によって、高い発明生産性をもってイノベーションへ貢献し、社会全体の成長・発展をけん引することができる重要な存在。
  - 博士＝研究者ではなく、博士＝複雑な課題への解決策を提示できる能力を持つ者。
- 博士人材は、複雑化する社会の中で、アカデミアだけでなく、産業界を含めた多様なフィールドでの活躍することが期待されている。



修士号取得者と比較して、博士号取得者は、特許出願件数とその被引用件数が高く、キャリアを通じて、高い発明生産性がさらに上昇していく。

出典： 独立行政法人経済産業研究所ディスカッション・ペーパー:12-E-059「企業内研究者のライフサイクル発明生産性」(2012年9月 大西 宏一郎(大阪工業大学) / 長岡 貞男(一橋大学))  
※「RIETI発明者サーベイ」を基礎データとして、単一の企業に長期間にわたって勤務している約1,700人の発明者を対象に特許出願件数とその被引用件数を集計・分析。

引用：「博士課程学生への支援について」文部科学省科学技術・学術政策局(令和3年11月15日)

# なぜ本プログラムが実施されているか（国・文部科学省の動き）

## 背景・課題

- 博士後期課程学生は、我が国の科学技術・イノベーションの一翼を担う存在であるが、近年、「**博士課程に進学すると生活の経済的見通しが立たない**」「**博士課程修了後の就職が心配である**」等の理由により、**修士課程から博士後期課程への進学者数・進学率は減少傾向**にある。
- このため、①**優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を強化し処遇向上を図る**とともに、②**博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスの整備を進める**ことが急務。

### 【経済財政運営と改革の基本方針2023（令和5年6月16日閣議決定）抜粋】

博士課程学生の処遇向上、挑戦的な研究に専念できる環境の確保、博士号取得者が産業界等を含め幅広く活躍できるキャリアパス整備等、魅力的な展望が描けるよう総合的な支援を一層強化する。



## 【支援内容】

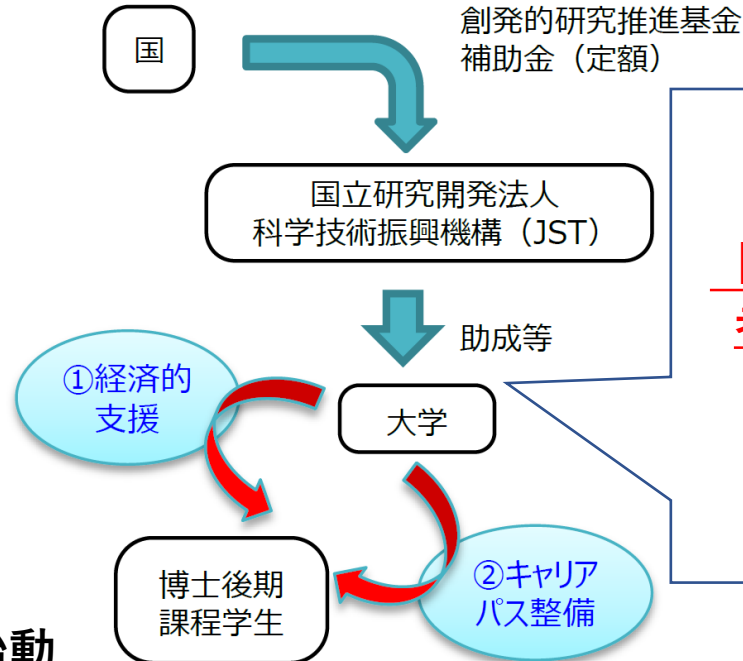
### ① 優秀な博士後期課程学生への経済的支援

優秀な博士後期課程学生を選抜。学生が研究に専念できるよう、生活費相当額（年間180万円以上）及び研究費からなる経済的支援を実施。

### ② 博士人材のキャリアパス整備

高度な研究力を有する博士人材が多様な分野で活躍できるよう、企業での研究インターンシップや海外研鑽機会の提供、マネジメントなどのスキル形成等の取組を実施。

## 【支援スキーム】



本学も実施機関に採択

↓  
**「広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム」**  
として支援開始

※本プログラム採択者のことを「次世代フェロー」と呼称します。

➡ JST 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」 が始動

# 次世代フェローへの支援内容について（経済的支援）

## 経済的支援

●研究専念支援金 19万円/月 + 研究費 40万円/年を支給（年合計 268万円の支援）

●各種支援プログラムの提供（※2024年12月時点。各プログラム内容は変更することがあります。）

・ 総合知研究支援プログラム

異なる研究分野の学生間で行う共同研究の経費を支援

採用予定件数: 10件程度

助成金額: 1件あたり上限100万円程度

・ 世界に羽ばたけ海外研究活動支援プログラム

研究留学、海外での研究活動に必要な経費を支援

採用予定件数: 20件程度

助成金額: 1件あたり 上限100万円程度

・ スキルアップイベント企画への助成

研究者としてのスキル形成に資するイベントの企画・運営の経費を支援

採用予定数: 若干名

助成金額: 1件あたり上限50万円程度

●HU SPRING奨励賞

来年度事業の採択状況により、変更の可能性があります

予定数: 30名~40名程度（各活動や取組において優秀な成果・成績を挙げた支援学生）

支援金額: 1人あたり12万円の研究奨励費を追加支給。

# 次世代フェローへの支援内容について（キャリアパス整備①HUSPRING）

## キャリアパス整備①（HU SPRING）

### ●3QUESTIONS（例年9月）

- ・ 研究についての3つの設問に答える形のポスター発表を行うイベント。
- ・ 過去にポスター発表していない学生はポスター発表は必須。※それ以外の学生も来場必須。

### ●英語教育プログラム

英語によるディスカッションスキルを磨くためのオンラインプログラムを提供。

### ●セミナー・ワークショップ

英語論文執筆や英語プレゼンテーションのスキル向上に関するセミナー・ワークショップを実施。

※HU SPRING支援コンテンツの詳細については以下ウェブページをご確認ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship/huspring/support>



# HU SPRING 3QUESTIONS (9/18-19@広島コンベンションホール)

## 博士課程後期の学生が自身の研究に関する「3つの問い」への回答を1枚のポスターにまとめて展示するイベント

- 来場者はポスターに自由にコメントでき、分野を超えた交流が期待される
- 研究内容をわかりやすく伝える力を養うとともに、異なる専門分野の参加者が対話を通じて理解を深め合い、今後の共同研究のきっかけとなることを目的とする
- 過去にポスター発表していない学生はポスター発表必須(その他の学生も来場必須)
- 優秀ポスターに選出された者には、HU SPRING Awardとして1人あたり12万円の研究奨励費(生活費相当)を追加支給する

### 【開催日時】

2026年9月18日(金),9月19日(土) 9:30-17:00

- 両日ともコアタイムの設定あり
- 9月19日に「共同研究創出促進ワークショップ」を開催予定(詳細はP.7)

### 【開催場所】

広島コンベンションホール3階大ホール

広島市東区二葉の里3丁目5-4  
二葉の里3丁目5番4号 広テレビビル  
※JR広島駅から徒歩4分



次世代フェロー  
でなくとも、見  
学は可能です。



【昨年度のワークショップの様子】



# HUSPRING関連ワークショップ

■例年、各支援コンテンツにつながるワークショップを実施しています。

●研究成果発信力育成ワークショップ（株式会社リバネス）※2026年は7月頃開催予定

異分野の学生にも研究の要点が伝わる説明力や、見やすく分かりやすいポスター作成力の向上を支援するWS。

→「3QUESTIONS」でポスター発表を行う方を対象に、本ワークショップ（参加必須）を開催します。発表スキルを磨き研究をより魅力的に伝える力を高め、「3QUESTIONS」当日は異分野の学生との交流を通して相互理解を深めましょう。ポスター発表者は参加を必須とします。

●共同研究創出促進ワークショップ（株式会社リバネス）※2026年は9月19日開催

異なる分野を研究する学生同士が、自他の研究内容を整理し、協力しながら新しい研究テーマを創出するWS。

→「3QUESTIONS」と同日に開催。参加者同士の相互理解を深めながら、異なる分野の知識を組み合わせる新しい発想を生み出す方法を学びます。そのうえで新規プロジェクトの構想に挑戦し、総合知研究支援プログラムの申請につなげましょう。

●総合知創出・共同研究共創リトリート（株式会社リバネス）※2026年は11月22日・23日開催予定

「共創」と「ピアサポート」を通じて、研究課題の深化、研究力の強化、学際的な共同研究の推進を支援するWS。

→本ワークショップでは、「共創」と「ピアサポート」を通じて、研究課題の深化、研究力の強化、学際的な共同研究の推進を支援します。総合知研究支援プログラムへの申請を希望する方は、積極的に参加してください。

# 未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業（FLAGs）

西日本唯一！総合型18大学中4大学採択

文部科学省「未来を先導する世界トップレベル  
大学院教育拠点創出事業」に

「持続可能な発展を導く科学」  
を実践する世界的大学院教育拠点形成  
が採択されました



申請区分	設置区分	大学名 (申請大学)	事業名
総合型	国立	新潟大学	グローバル社会を牽引する博士イノベーター育成大学院拠点
総合型	国立	金沢大学	多面的な連携が生み出す「知」の共創と往還による新価値創造人材の育成・輩出拠点
総合型	国立	名古屋大学	名大ビジョンR16: 社会に羽ばたく高度博士人材の育成
総合型	国立	広島大学	「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界的大学院教育拠点形成

# 未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業（FLAGs）

## 広島大学大学院教育推進機構による徹底した大学院システム改革

### ▶ 徹底した組織マネジメント改革

- ▶ 「教育・国際・産学・地域連携」を連動させる組織横断型マネジメント
- ▶ 大学院を統括する組織縦断型マネジメント
- ▶ 博士課程教育体制の充実に向けた人材マネジメント（博士課程教育重点教員制度の全学実施）
- ▶ 学部から大学院へ資源のシフト



### ▶ 世界をつなぐ国際拠点形成 ASEAN・南アジア・アフリカと欧米をつなぐ国際ハブ大学

- ▶ 研究室単位の海外サテライトラボの形成
- ▶ 若手教員+博士学生の派遣と受入教員の招致による国際的人材循環の実現
- ▶ 国際的・大学院接続プログラムの拡大によるASEAN・南アジア・アフリカの留学生獲得
- ▶ Town & Gown構想による留学生博士人材を対象とした地域定着型キャリア形成プログラムの実施



### ▶ 徹底した産学連携教育と出口開拓 Industry Advisory Boardとの共創

- ▶ 博士学生と各参画大学の企業等ネットワークを活用したコミュニティ形成
- ▶ 研究指導教員とモデレーター（博士人材力指導者）のダブル指導体制による博士人材育成
- ▶ 大学や研究科等を越えた異分野の博士学生が共学するイノベーションクラスでのPBLの実施
- ▶ 社会人博士の学び直しを支援する2つ目博士号取得を促進するプログラムの実施



## 博士人材の多様なキャリアパスに対応したキャリア別教育プログラムの展開

世界トップレベル  
研究者

研究マネジメント  
人材

高度専門  
人材

大学/研究機関

大学/政府機関/  
コンサル企業

企業/政府機関/  
自治体

日本のイノベーションを推進するリーダーとなる博士人材の輩出

博士学生の多様な出口を開拓する  
「FLAGs事業」

と

博士在学中に経済支援・キャリア整備  
の支援をする「SPRING事業」

の両輪で支援を実施します。

未来を先導する世界トップ  
レベル大学院教育拠点創出事業

FLAGs SPRING

広島大学創発的次世代研究者  
育成・支援プログラム

国際拠点形成 産学連携教育

組織マネジメント改革

広島大学大学院教育推進機構による  
徹底した大学院システム改革

研究力向上・キャリアサポート

経済的支援 能力開発

経済的不安を抱えることなく安心して  
研究に専念できる環境の整備

# 次世代フェローへの支援内容について（キャリアパス整備②FLAGs）

## キャリアパス整備②(FLAGs事業)

→次世代フェローだけでなく、全ての博士課程後期・博士課程学生が対象

### ●未来博士3分間コンペティション（例年11月）

1枚のスライドと3分間という時間で研究内容を伝えるスピーチ全国大会

### ●博士人材と企業の交流会（9月予定）

博士人材に興味のある企業と中四国地域の博士課程後期学生が集まる交流会

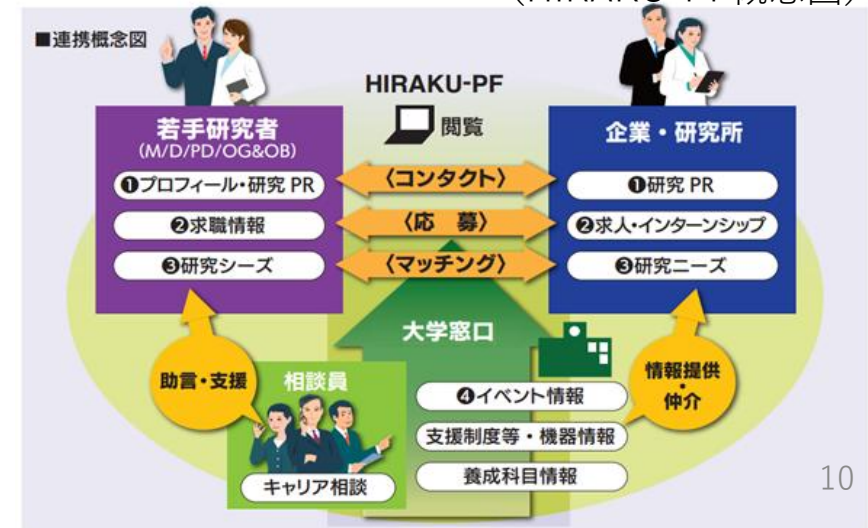
### ●若手研究者ポートフォリオ（HIRAKU-PF）

博士人材が自身の能力の強みや弱みを理解し、目標設定や成長履歴を自己管理するためのプラットフォーム。学生や企業ユーザーは研究業績などプロフィール公開して情報交換が可能です。また、大学、公的機関、企業等の組織ユーザーから、博士人材向けキャリア開発／能力開発にかかる各種情報の提供も行われます。（HIRAKU-PF概念図）

### ●ジョブ型研究インターンシップ

産業界と大学が協力して実施する、長期・有給・ジョブ型のインターンシップ

### ●博士人材キャリア相談



# 未来博士3分間コンペティション (11/21@広島コンベンションホール)

2026年11月21日(土)@広島コンベンションホール

◆博士課程後期学生が3分間の限られた時間内に研究のビジョンと魅力を分かりやすく伝えるスピーチ大会

◆募集対象は、全国の大学に在籍する博士課程後期学生

◆日本語部門と英語部門があり

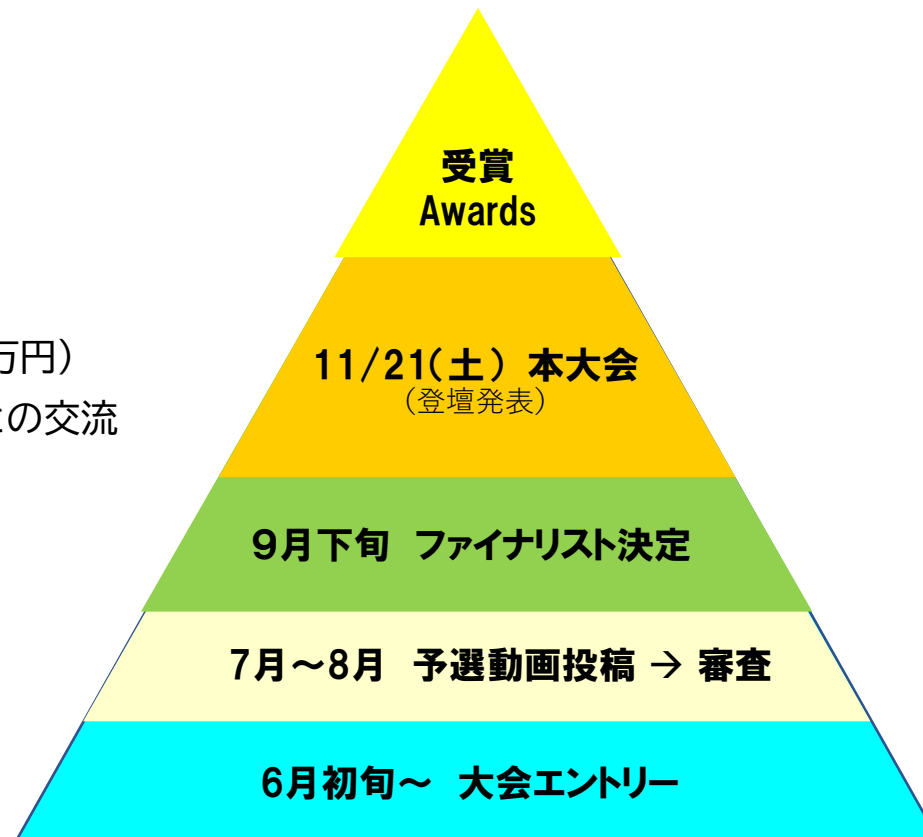
## 大会参加の メリット

1. プレゼンテーションスキルの向上
2. 大会賞金獲得チャンス！  
(最優秀=30万円, 優秀=15万円)
3. 様々な学術分野の博士課程学生との交流
4. 協賛企業との交流・直接対話

大会公式サイト(随時更新)



<https://www.3mt.hiroshima-u.ac.jp/>



大会後の懇親会の様子 (他大学学生を含むファイナリストや企業来賓・審査員の方々とともに)



# 博士人材と企業の交流会（9/18@広島コンベンションホール）

2026年9月18日(金) 13:00～18:00

広島コンベンションホール 2階

※ 3 QUESTIONS と同時開催

✓ 中四国国立大学の博士学生による研究ポスター発表



✓ 博士人材を積極的に採用している企業による合同企業説明会

## 参加学生・企業

- 学生：広島大学だけでなく中四国国立大学の博士学生が参加対象
- 企業：博士人材を積極的に採用している企業25社程度が参加予定

## 開催までのスケジュール

6月	7月	8月	9月	イベント前後の オンライン交流
学生参加者募集	事前ワークショップ	発表資料の作成	イベント実施 〔研究ポスター発表〕	HIRAKU-PF上で 〔PR動画を公開〕

研究内容を一般社会や産業界にわかりやすく伝えるためのプレゼンテーション手法を学ぶ事前ワークショップを開催します。

- ◆ ポスタープレゼン制作ワークショップ
- ◆ PR動画制作ワークショップ

未来博士3分間コンペティション予選への動画投稿

# 博士人材と企業の交流会（9/18@広島コンベンションホール）

✓ 次世代フェローでなくとも、博士課程・博士課程後期学生であれば参加できます。

## 「博士人材と企業の交流会」スケジュール（9/18）

12:00-13:00 受付開始

13:00-13:10 挨拶・事業趣旨説明

13:15-14:15 博士学生によるポスター発表（30分×2グループ）

14:25-15:25 企業プレゼン（2分/1企業）

15:40-17:35 個別企業説明会（25分×4ターム）

18:00-19:30 情報交換会 ※任意参加  
軽食を交えた自由交流

## 「3 QUESTIONS」スケジュール（9/18）

13:00-14:00 3QUESTIONSコアタイム

3 QUESTIONS  
を見学した後に  
博士学生は合流  
可能

✓ アカデミアを目指す人であっても幅広い視野や選択肢を持つことが重要です。産業界のニーズや博士人材の活躍の場について知るいい機会となりますので、積極的に参加しましょう。

# 次世代フェローへのなすべきことについて

- ① 毎年度1年間の研究計画を策定し、研究計画を踏まえた研究活動に専念すること。
- ② 研究活動の状況を定期的に大学に報告すること。
- ③ 各種調査に協力すること。特に本学修了後 10 年間のキャリアに関する追跡調査に必ず協力すること。
- ④ 大学が実施する **研究力向上等に関するプログラムに参加** すること。
- ⑤ 「広島大学における研究活動に係る研究倫理教育に関する細則」に基づき、必要な研究倫理教育を受講すること。
- ⑥ 「HU SPRING」が実施する取組やHIRAKU-PFで案内する活動等に参画すること。（特に **「3QUESTIONS」は必ず参画し、「未来博士3分間コンペティション」は積極的に参画すること。**）
- ⑦ **ジョブ型研究インターンシップのアカウント登録**を必ず行うこと。

前述の支援プログラムやイベントを積極的に活用して、研鑽・スキル形成に役立てること。

※各詳細は採択後のガイダンスで説明します。

## 求められる人物像

- 本プログラムでは、広い視野と知識をもち、優れた判断力と行動力を有する総合的な力で、我が国の将来の科学技術・イノベーションに貢献し、世界をより良くする取り組みを推進できる人材を求めます。
- 特に、広島大学で博士号を取得した後も我が国の科学技術・イノベーション創造に直接携わる意思を有する者を求めています。審査においてもこの点を重視します。

## 次世代フェローの採択枠

- 2026年10月支援開始分（2026年4月・10月入学者対象）は、40名程度を採択予定で、採択結果は9月中旬に通知します。
- 2027年4月支援開始分（2027年4月入学予定者）は、60名程度の採択を予定しておりますが、SPRING制度変更に伴い、広島大学は科学技術振興機構に2027年度以降の支援枠を申請中であることから、2027年4月支援開始予定の採択者数はその結果に応じて変更となる可能性があります。

## 応募資格・要件※一部簡略化しています。応募する際には必ず募集要項を確認ください※

- 支援を開始する月の初日において本学大学院の博士課程に在学する者。ただし、標準修業年限を超えて在学している者及び休学している者を除く。
- 支援を開始する月の属する年の1月から12月までの間に240万円以上の収入(アルバイト等不安定な収入を除く)を得ることが見込まれない者。
- 日本学術振興会の特別研究員、国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生又は母国からの奨学金等の支援を受ける留学生でない者。

日本学術振興会の特別研究員については、本プログラムの“併給”はできませんが“併願”は可能です。次世代フェローに応募する学生には特別研究員にも応募することを、特にアカデミアを目指すものには推奨しています。

- 他の奨学金等との併給が不可とされる地方公共団体や民間団体等の奨学金を受けることが見込まれない者。

併給不可の奨学金については、“申請中（結果待ち）”であっても本プログラムには応募できません。

※他財団の奨学金へ申し込み、その後、申請取り下げや辞退を行った際に、財団と大学の関係が悪化し、他の学生が奨学金に申し込めなくなる可能性があるため、一律に不可としています。

# HU SPRING申請書 作成上の注意点（1）

学振DC申請書をベースに作成可能ですが、以下の点に留意しながら申請書を作成しましょう。

✓ **【全体的に】他分野の審査員にもわかりやすい記載であるか？**

→書面審査は、専門分野の近い審査員1名、他分野の審査員2名で審査を行います。また、二次審査に進むと学外の審査委員（企業出身者等）なども審査することがあることから、他分野の人にもわかりやすい文言で申請書を作成しましょう。

○学振DCの審査よりもさらに広い分野の人が審査することを意識しましょう。

**2. 【研究計画】**※他分野の審査員も読むことを意識して、適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。←

**(1) 研究の位置づけ**←

フェローとして取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。←

なお、本項目は 1 頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分(四角い枠で囲われた部分)は消さないでください。←

✓ **【研究計画・概要】その研究が社会に与える影響は？**

→研究しようと思う分野ではどういった社会課題があり、現状どういった研究が行われているのか。その中であなたはどこに着目して、どのような研究課題を解明したいと考えているのか。

✕ 学術的に未明であるので解明する、これまで誰も取り組んでいなかった部分を解明する。

○ 解明した先、どのような社会課題解決や日本の科学技術・イノベーションの貢献につながりうるのか。

# HU SPRING申請書 作成上の注意点 (2)

【研究計画】(続き) ※他分野の審査員も読むことを意識して、適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。←

## (2) 研究目的・内容等←

- ① フェローとして取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。←
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。←
- ③ 研究の特色・独創的な点(先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)にも触れて記入してください。←
- ④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。↓
- ⑤ 研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関(外国の研究機関等を含む。)において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。←

なお、各事項の字数制限はありませんが、全体で2頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分(四角い枠で囲われた部分)は消さないでください。←

## ✓ 【研究計画・詳細】博士課程後期在学中の研究の具体的手法、実現可能性、独創性はどうか？

→博士課程後期在学中に進める研究として、どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするか。先行研究と比較して何が独創的で、将来的にはどういった社会的インパクトを与えうるか。

## 3. 【研究遂行力の自己分析】←

本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。←

※各事項の字数制限はありませんが、全体で2頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分(四角い枠で囲われた部分)は消さないでください。←

## ✓ 【研究遂行力の自己分析】あなたの現状の強みと今後必要となる要素は？

→これまでの経験・業績から、研究を進めるうえでどういった強みを獲得しているか。今後獲得が必要となる能力や要素は何であると考え、どう取得していくつもりか。

# HU SPRING申請書 作成上の注意点 (3)

## 4. 【目指す博士人材像等】

本フェローシップは、日本の将来の科学技術・イノベーションに貢献し、世界の未来を担う人材となる博士課程後期学生を支援・育成し、羽ばたかせることを目的としています。この目的に鑑み、(1)「目指す博士人材像」、(2)「目指す博士人材像に向けてフェローの採用期間中に行う研究活動及び広島大学が実施する博士人材力向上のイベント活動の位置づけ」を記入してください。

※各事項の字数制限はありませんが、全体で 1 頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分(四角い枠で囲われた部分)は消さないでください。

## ✓ 【目指す博士人材像】 どのような博士人材を目指し、フェロー採用期間中は研究活動や支援活用をどのようにするか？

→次世代フェローには先述した各種支援が用意されているが、理想の博士人材像を目指すにあたって、フェロー採用期間中に研究活動にどう取り組み、フェローの支援をどのように活用するつもりか。

## 5. 【日本の科学技術・イノベーションへの貢献】

前問の「目指す博士人材像」を踏まえて、現時点で想定しているキャリアプランにおいて、博士号取得後に日本の将来の科学技術・イノベーションにどのように貢献するのか(特に博士号取得後 10 年間について)を記入してください。

※各事項の字数制限はありませんが、全体で 1 頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分(四角い枠で囲われた部分)は消さないでください。

## ✓ 【日本の将来の科学技術・イノベーションへの貢献】 博士号取得後にどのように貢献できると考えるか？

→「日本の現状」を把握したうえで、現状想定するキャリアプランの中で、博士号取得後に「自身の経験・強み」を「具体的に」、将来「どこ」で「どのように」生かしたいのか？

- ✗ 単に研究員として研鑽を続ける、国際性を高める
- ✗ 海外の・・・研究室で研究員になり、高インパクト論文を出版する
- ✗ 単に日本で大学・企業等で研究者・技術者になる

# HU SPRING申請書 作成上の注意点（４）

● 申請書には指定の書式があり、文字サイズやページ数にも指定があります。

● 申請には指導教員（入学前の学生は受入予定教員）のご確認が必要です。

※これまでの事例として・・・

- 指定書式以外で応募
  - 指定のページ数を超過
  - 教員の確認チェック欄に確認を得ずに応募
  - チェックシートの未提出、チェック漏れ
- これらは、審査対象外となる場合があります。

応募書類 チェックシート   
 ※本チェックシートも申請書類とともに、提出が必要です。  
 ※チェックシートに不備がある場合は、審査に付されないことがあります。

項目	チェック内容	チェック欄
【研究計画】 (1)研究の位置づけ	文字サイズは 11 ポイント以上で作成されていること	<input type="checkbox"/>
	過不足ない文章量で、1頁に収まっており、様式変更・追加が無いこと	<input type="checkbox"/>
【研究計画】 (2)研究目的・内容等	文字サイズは 11 ポイント以上で作成されていること	<input type="checkbox"/>
	過不足ない文章量で、2 頁に収まっており、様式変更・追加が無いこと	<input type="checkbox"/>
【研究遂行力の自己分析】	文字サイズは 11 ポイント以上で作成されていること	<input type="checkbox"/>
	過不足ない文章量で、2 頁に収まっており、様式変更・追加が無いこと	<input type="checkbox"/>
【目指す博士人材者像等】	文字サイズは 11 ポイント以上で作成されていること	<input type="checkbox"/>
	過不足ない文章量で、1頁に収まっており、様式変更・追加が無いこと	<input type="checkbox"/>
【日本の科学技術・イノベーションへの貢献】	文字サイズは 11 ポイント以上で作成されていること	<input type="checkbox"/>
	過不足ない文章量で、1頁に収まっており、様式変更・追加が無いこと	<input type="checkbox"/>
指導(予定)教員との調整	応募書類は指導(予定)教員と相談の上で作成されたか。 或いは、指導(予定)教員が記載内容を承知しているか。 日本の科学技術・イノベーション創造に直接携わる意思を指導(予定)教員が確認できているか。	<input type="checkbox"/>

【指導(予定)教員所属】：  
 【指導(予定)教員氏名】：  
 上記内容を確認しました   
 ※指導(予定)教員の自署・押印は不要です。

## HU SPRING申請書 作成上の注意点（4）

- 研究者として、他人の文章を剽窃することは許されません。
- 過去の申請書等との類似性をチェックし、不正があった場合には採択を取り消すとともに、支給した研究専念支援金および研究費の全額返還を求めます。



申請書は、自身の創作する文章で作成しましょう。  
他者の文献を引用する必要がある場合には、出典元を明記するなど、引用のルールに基づいて行ってください。

（参考資料）

- レポート作成上の注意（2016年3月改訂）
- 研究倫理教育（大学院生Basic）研究活動における不正行為の防止について

# 二次審査について

● 申請書による一次審査（書面）を行い、その後、一部の申請者に対してのみ、二次審査を実施予定です。

● 二次審査は動画および面接により行う予定です。

① 二次審査（動画）：3分間の動画を提出

1) 自身の研究内容について（2分）

評価のポイント→ 専門が異なる分野の審査員にも理解できるように研究内容を説明できているか。

2) 博士号取得後、日本の科学技術・イノベーション創造に寄与する自身のキャリアパスについて（1分）

評価のポイント→ 特に、博士号取得後にどのようにして日本の科学技術・イノベーションへ貢献できる人材となるかを説明できているか。

② 二次審査（面接）：動画審査対象者のうち、一部の申請者に対して実施

→15分程度のオンライン面接を実施します。

# HP・各種問い合わせ先について



広島大学HP「大学院生支援プロジェクト」：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship>

問い合わせ内容	問い合わせ先	連絡先
<ul style="list-style-type: none"><li>・次世代フェローの募集、選抜、義務に関する事</li><li>・研究専念支援金に関する事</li></ul>	グローバルキャリアデザインセンター	<a href="mailto:fellowship@office.hiroshima-u.ac.jp">fellowship@office.hiroshima-u.ac.jp</a>
<ul style="list-style-type: none"><li>・各種支援プログラムに関する事</li></ul>	HU SPRING事務局 (学術・社会連携支援部)	<a href="mailto:hu-spring@office.hiroshima-u.ac.jp">hu-spring@office.hiroshima-u.ac.jp</a>
<ul style="list-style-type: none"><li>・次世代フェローの研究費、予算管理に関する事</li></ul>	学術・社会連携支援部	<a href="mailto:gakujutu-project@office.hiroshima-u.ac.jp">gakujutu-project@office.hiroshima-u.ac.jp</a>

# こちらも参考にしてください



日本語

English

中文

## 大学院生支援プロジェクト

[サイトマップ](#) | [交通アクセス](#) | [お問い合わせ](#)

Google 提供



[Home](#) > [大学院生支援プロジェクト](#) > [よくある質問 \(FAQ\)](#)

大学院生支援プロジェクト

広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)

広島大学創発的次世代AI人材育成・支援プロジェクト

女性科学技術フェローシップ制度

HU SPRING

フェローの義務

よくある質問 (FAQ)

採択フェロー一覧

[English](#) >

### よくある質問 (FAQ)

よくある質問については[こちら](#)  をご確認ください。

よくある質問をまとめています。  
随時更新しています。

「公式Webサイト>大学院生支援プロジェクト 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)>よくある質問 (FAQ)  
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship/faq>

# 今後の次世代フェロー公募スケジュールについて

対象者	募集区分	2024					2025					2026					2027					...	
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
2025年4月 入学予定者	2025年4月 支援開始分	募集・選考①					募集・選考②		採択者へ支援														
2025年10月 入学予定者	2025年10月 支援開始分						募集・選考①		採択者へ支援														
	2026年4月 支援開始分																						
2026年4月 入学予定者	2026年4月 支援開始分																						
2026年10月 入学予定者	2026年10月 支援開始分											募集・選考①		採択者へ支援									
	2027年4月 支援開始分													募集・選考②			採択者へ支援						
2027年4月 入学予定者	2027年4月 支援開始分											募集・選考①		募集・選考②			採択者へ支援						

【今回の公募期間】募集要項は5月18日から公開中。

申請書受付期間は、  
5月27日（水）9時～6月19日（金）17時まで

標準修業年限まで支援

「公式Webサイト>大学院生支援プロジェクト 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING) 年間公募スケジュール」  
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship/nextgeneration/schedule>

# 今後の次世代フェロー公募スケジュールについて

大学院生支援プロジェクト

広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)

> 年間公募スケジュール

> 公募情報

> グラント番号

広島大学創発的次世代AI人材育成・支援プロジェクト

女性科学技術フェローシップ制度

広島大学グローバル博士フェローシップ制度

HU SPRING

フェローの義務

よくある質問 (FAQ)

採択フェロー一覧

説明会メニュー

## 公募情報

### 現在の公募情報

【2026/6/19応募締切】 (SPRING)広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム(2026年10月および2027年4月支援開始分)の募集を開始します

募集要項や応募書類はこちらからご確認下さい。

こちらに募集要項・応募書類などを掲載しています。

### ■ 参考情報

※東広島キャンパスで5月21日(木)及び霞キャンパスで25日(月)に応募者説明会を開催後、5月27日(水) 9:00~6月19日(金) 17:00(日本時間)が申請書提出期間となりますが、募集要項や応募様式は事前に確認して、計画的に申請書作成を進めましょう。

※説明会では事業の背景や申請時のポイント・注意点について説明しますので、申請予定者はなるべくご参加ください。(参加できない場合は、説明会開催後にHP上に掲載する説明会資料をご確認ください。)

【2026/5/21・25開催・要申込】広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)応募者説明会を開催します。

「公式Webサイト>大学院生支援プロジェクト 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)>公募情報  
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship/nextgeneration/application>



**Go beyond your comfort zone!**

Hiroshima University strongly encourages our students to go beyond their comfort zone, in terms of not only academic abilities, but also interactions with people from different backgrounds such as other disciplines, nationalities, cultures, languages, etc.